



アーツサポート関西 寺田千代乃 上方落語若手噺家支援基金

上方落語若手噺家グランプリ

きちのじょう
初開催は桂吉の丞さんが優勝

上方落語の伝統継承と若手噺家の育成を目的として、アートコーポレーション株式会社の寺田千代乃社長による特定型個別基金(500万円)をもとに開催された「上方落語若手噺家グランプリ」。今年6月23日、天満天神繁昌亭で予選を勝ち抜いた9名による決勝戦が行われ、桂吉の丞さん(32)が優勝した。在阪のテレビ・ラジオ局7社のプロデューサーらが審査した。

吉の丞さんは1982年堺市出身。2002年に故桂吉朝さんに入門し、今年13年目。今年3月に亡くなった桂米朝さんの孫弟子で、米朝、吉朝のもとで修業した最後の弟子となる。決勝の演目は古典「墓(がま)の油」。流暢な口上で客を引きつけた墓の油売りが、休憩に飲んだ酒で酔っぱらい2度目の口上をしくじる話で、その滑稽さを見事に演じ、観客を大いに沸かせた。

寺田氏から賞金20万円と記念盾を受けた吉の丞さんは、その後の記者会見で、「こうした機会を与えていただいたことに、出演者全員が喜んでます。落語はお客様に助けられる芸能。大阪には、若手噺家がこんなに頑張っていることを皆さんに知っていただきたい」と感謝した。また、同席した桂文枝さん(上方落語協会会長)は、「お客様が入りきらないほど大盛況だった。これを機に若手がどんどんテレビに出て、落語ファンを増やしてほしい」と励ました。



寺田千代乃氏(右)から賞金を受ける吉の丞さん



口演中の桂吉の丞さん

公募助成金の交付開始

独創的な作品にメディアも注目

昨年審査で決定したASK(アーツサポート関西)の助成金交付が、今年4月から始まっている。7月31日時点で、すでに8つの団体・個人に交付され、なかにはメディアに大きく注目されているものもある。

そのひとつ「ディズニー美術」(40万円)は、美術と著作権の問題をテーマにした現代アート展で、同時に行われたシンポジウムには東京からも専門家が駆けつけ、新聞でも大きく取り上げられた。また、演劇集団

「下鴨車窓」(50万円)は、6月に香港とマカオで海外公演を実施。そこで上演された新作「漂着 island」が大阪と京都でも上演され、新聞などでも取り上げられ話題を呼んだ。一方、「Dance Fanfare Kyoto」(30万円)は、新たな表現をめざす若者世代の取り組み、ダンサーと他分野のアーティストとのコラボレーションによって独創的な舞台表現が繰り広げられた。



ディズニー美術



演劇集団「下鴨車窓」



Dance Fanfare Kyoto

助成に関する受付・お問合せ

アートサポート関西 事務局
公益財団法人 関西・大阪21世紀協会内

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル29階

TEL 06-7507-2004 FAX 06-7507-5945

Email ask@osaka21.or.jp